

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココニー児童デイサービスまえじま		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 15 日		～ 令和7年 2 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 家族	(回答者数) 12 家族
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 15 日		～ 令和 7 年 2 月 15 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 名	(回答者数) 7 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して事業所へ通うことができる環境。	連絡帳や送迎時に園や家庭での様子を共有して頂き、利用者の理解を深められるよう留意しています。また事業所内の点検を行い、危険箇所の補修等安全対策を行っております。児童それぞれの特性に合わせて、写真やイラストで作成したカードを使う等、工夫しながら支援を行っております。	事業所のロッカーを個別で振り分け、利用者の名前や顔写真を掲示したり、統一したTシャツを作る等、事業所での仲間意識、居場所作りを進めていけたらと考えています。
2	より良いサービスを提供できるよう事業所での研修や職員ミーティングの実施。	日頃から、職員ミーティングで児童の支援についての振り返りと改善を行っています。また、障がいに関する事や支援方法等、研修を通して知識を習得し、支援を通して実践する中でサービスの質の向上を目指しています。	利用者本人の支援に関することはもちろんですが、家族支援(兄弟支援)や移行支援についての知識を学び、事業所で取り組んでいきたいと思っています。
3	事業所、家庭、保育園やこども園、相談支援専門員や並行利用する他事業所と連携を行い、支援を実施している点。	写真を使い、事業所での様子を共有することや、実施している支援内容や支援のねらい等の確認を行い、事業所での利用者の様子や支援に関して、ご家庭や保育園・こども園、相談支援専門員、その他関係機関と密に連携できるよう工夫しています。	事業所での様子や支援方法等、わかりやすく共有することができ、利用者家族や関係機関と連携して支援が実施できるよう、事業所便りの作成や定期的な家族会の実施を計画しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や支援に関する勉強会などの開催に関して。	感染症対策の観点からなかなか実施できない状況が続いていた事や、職員の入れ替わりがあった為、保護者の交流の機会を多く設けることが難しかったと考えます。	今後は家族会や親子遠足だけでなく、定期的な保護者会(ゆんたく会)の実施や、支援に関する勉強会(講師をお招きしての意見交換会等)を行い、保護者の交流や支援に関する情報交換ができるよう、実施を計画しています。
2	地域の保育園、こども園、学校や学童クラブ等との交流の機会に関して。	感染症対策の観点から、事業所へ地域の方を招く等と取り組みが難しかったことや、地域でのイベント等の情報を集める事ができなかったことが要因だと考えます。	日頃から地域でのイベントの情報を調べる事や、感染症対策を実施しながら、事業所から地域へ発信できる活動がないかを検討し、地域での交流の機会を増やしていきたいと考えています。
3	事業所での非常時等の対応に関する保護者への周知に関して。(緊急時マニュアルや避難訓練の報告等)	契約時に説明を行ってりましたが、定期的に情報共有を行っていなかったため、保護者への周知が不十分だったと考えます。	今後は、事業所だよりや家族会、保護者会等を通して、事業所での取り組みなどを定期的に発信し、保護者からの問い合わせがしやすい環境作りを行いながら、周知を進めていきたいと思っています。